

平成28年9月25日
今週のベストショット



雁レク2 ブルーマーリンス 対 奈多クラブ戦

豪快な三塁打を放つ奈多クラブ上野選手。

写真：レッドサンデーズ 古賀風太

青松園A 序盤と終盤の両チームの猛攻の結果は引き分け！

雁ノ巣ライナーズ（4勝4敗2分）000160 7 有馬△-明瀬（航）

三苦フレンズ （2勝7敗1分）421000 7 山口△-佐藤

HR：生野（猛）（三苦フ）久保田（雁ノ巣） 2BH：山口2、佐藤（三苦フ）中口、宇野（雁ノ巣）

盗塁：田中（三苦フ）

雁ノ巣ライナーズと三苦フレンズの一戦は、先発はライナーズ有馬投手、フレンズ山口投手で試合は始まった。一回表、先攻ライナーズは山口投手に2三振を喫し、無得点に終わる。一回裏、フレンズは球が定まらない有馬投手を攻め、先頭吉村（雄成）選手が四球、二番佐藤選手の内野安打と三番生野（拓）が高めの球を逃さずセンター前ヒットで出塁し、いきなり無死満塁とする。ここで有馬投手はWPで1点を献上、四番山口選手がセンター横を抜ける二塁打を放ち2点を追加。更に六番御手洗選手がライトへの犠牲フライを放ち、この回、一挙4点

を先制する。フレンズ山口投手は速球で両コースを攻め、三回までにライナーズから6奪三振と順調な滑り出しを見せる。二回裏フレンズは、九番田中選手が四球で出塁すると盗塁を決め、無死二塁。一死後二番佐藤選手がレフト前タイムリーヒットを放ち1点を追加。二死後、四番山口選手のライト側に高く上がった打球が野手の間にポトリと落ち、更に1点を追加。三回裏はフレンズ七番生野（猛）選手が見事にライトオーバーHRを放ち1点を入れる。三回裏時点で0-7と一方的なゲーム展開となりかけた。しかしライナーズは反撃を開始する。四回表、二番国崎選手がチーム初ヒットとなるバンドヒットで出塁すると三番中口選手がレフト前ヒットで無死二塁とする。一死後、五番久保田選手の打球が内野エラーとなる間にランナーが返り、まず1点を入れる。そして二死二三塁で六番明瀬（航）選手は山口投手から鋭い打球を放つ。打球はショート頭上を越えるかと思われたが、ここでフレンズショート吉村（雄成）選手がジャンプ一番で捕球しファインプレーとなり山口投手を助けた。ファインプレーはライナーズでも起きる。四回裏、一番吉村（雄成）選手の三遊間の深いところへの打球をライナーズショート明瀬（航）選手が捕球、素早く一塁へ送球しアウトとしチームを盛り立てた。ライナーズはここから追い上げを見せる。五回表、ライナーズは八番池内選手がバンドヒットで出塁すると四球、二番国崎選手のバンドヒットで一死満塁とする。続く三番中口選手はライト前に二塁打を放ち、まず2点を追加。二三塁となって四番宇野選手も右中間への二塁打を放ち、更に2点を追加。そして五番久保田選手の打球はレフト横に落ち、転がる間に久保田選手は疾走、HRとなり遂に同点とする。終盤に強いライナーズがまたもや底力を見せた。その後、六回までゲームは進むが両チーム得点できず引き分けゲームセットとなった。フレンズ吉村監督は最終的に追いつかれてしまったが、全員試合に出す方針で試合に臨んだので悔いはないとのコメント。一方ライナーズ岩崎監督は山口投手の前に10三振を喫したことと初回の失点が痛かったとのことでした。両チームの特徴が出た好ゲームでした。（記事：三友クラブ駄原孝一郎、写真：大坪和則）



フレンズ先発の山口投手。



ライナーズ先発の有馬投手。



一回裏、ホームに戻るフレンズ佐藤選手と生野（拓）選手。



一回裏、犠牲フライを放つフレンズ御手洗選手。



二回裏、盗塁を決めたフレンズ田中選手。



二回裏、レフト前二塁打を放つフレンズ佐藤選手。



二回裏、山口選手の打球が野手の間にポトリ。



三回裏、HRの生野猛選手を笑顔で迎えるフレンズベンチ。



四回表、レフト前ヒットを放つライナーズ中口選手。



ジャンプ一番のファインプレー！吉村雄成遊撃手。



深いゴロを好捕！素早い送球！ライナーズ明瀬旭遊撃手。



五回表、犠打を決めるライナーズ山本選手。



五回表、タイムリーヒットを放つライナーズ宇野選手。



同点HRを放ち歓喜で迎えられるライナーズ久保田選手。



試合挨拶後、握手で健闘を讃え合う両チーム監督。

奈多グラウンド 大量11得点で奈多サンデーズが貫録勝ち！！

ソルトベイスターズ（10敗1分）00001 1 酒井●ー春田

奈多サンデーズ（7勝2敗1分）32024X 11 江口○ー大川

3BH：川上（奈多サ） **2BH**：川上、大川、木下、宮口（奈多サ） 中村（ソルト） **盗塁**：野田（奈多サ）

試合は一方的な展開となった。初回、奈多サンデーズ先頭の川上選手が右中間への痛烈な二塁打を放つと続く大川選手は死球で無死一二塁のチャンス。三番野田選手の当たりは投ゴロだったがソルトの酒井投手が打球の処理を誤り二塁走者の川上選手が一気に生還し先制点をとる。この後も江口選手の犠飛と巧みな走塁で二点を追加し3得点。二回には先頭の前田選手が四球を選び続く富安選手は内野安打と大ベテランの二人がチャンスメイクすると川上選手も内野安打で続き無死満塁。二番大川選手の中前打で1点を追加すると初回に続き四番江口選手が犠飛を放ち2得点。三回こそ無得点だったが四回は3安打2得点。五回は5安打4得点で計11得点を奪う猛攻をみせた。一方のソルトは四回まで散發2安打で無得点だったが最終回に意地を見せる。先頭の矢野選手がこの日自身二本目となる安打を左前に放つと森選手も中前打で続き、無死一二塁とると続く一番中村選手が高めのボール球を強引に右中間へ運び、1点を返す。上位打線だけに後続に期待がかかったが石井選手、真弓選手、春田選手が凡退し、反撃もここまでとなった。得点力もさることながらソルトの強打者春田選手に仕事をさせなかったサンデーズバッテリーの上手さが印象的な試合であった。（記事・写真：奈多フェニックス 実延新伍）



奈多サンデーズの好投手、江口選手。



前回好投、ソルトベイスターズ酒井投手。



華麗な守備をみせるサンデーズ宮口遊撃手。



足をいかせるか、ソルト中村選手。



ソルトの大砲！春田選手をうまく抑える。



奈多サンデーズの好打者、大川選手。



最終回、意地のタイムリーを放つ中村健一選手。

雁レク8 首位奈多クラブ、好調ブルーマーリンズを一蹴

ブルーマーリンズ（4勝5敗1分）00000 0 横山（祥）●—横山（健）

奈多クラブ（8勝1敗1分）11003× 14 今林（瑠）○—安河内

3BH：上野（奈多ク） 2BH：久保（奈多ク） 盗塁：江里口（奈多ク）

前の試合で初黒星となった現在首位の奈多クラブは、この試合を落とせないという気迫をみせる。初回先頭打者が四球を選ぶとWPと内野ゴロの間に二死三塁とし、またもやWPで、簡単に先制点を献上。そして、続く六番江里口選手に対し四球で始まった二回裏は、この回6つの四球とエラーもからみ、一挙10点を追加し試合を決める。また四回裏にも三番上野選手の左越え三塁打2打点も飛び出し、結局この回3点を追加。意地をみせたいブルーマーリンズだったが、最終回には、今林（瑠）投手に三者三振をくらい、計7奪三振。終わってみれば、0対14のコールドで、圧倒的な強さを見せつけた！（記事：レッドサンデーズ 前田篤史、写真：古賀風太）



制球に苦しんだブルーマーリンズ横山（祥）投手。



圧巻のピッチング、奈多クラブ今林瑠生投手。



四回表、内野安打で一矢報いた横山（祥）選手。



ライト前ヒットで代打の起用に見事応えた今林常光選手。



最終回、レフトオーバー三塁打を放つ上野選手。



途中登板のブルーマーリンズ阿部選手。

青松園B 広木選手HR、矢野選手の好投で三苫ホーネッツ勝利！

三苫ホーネッツ（8勝2敗）2011100 5 矢野〇ー広木

三苫三球会 （4勝7敗）0200001 3 塚（達）●ー蓑原

HR：広木（三苫ホ） 3BH：船橋（三球会） 2BH：今田（三苫ホ） 盗塁：矢野（義）、矢野（雅）（三苫ホ）

三苫ホーネッツ先制で始まった一回表の攻撃、先頭稲葉選手がショートへの内野安打で出塁すると、二番前園選手が送りバント。三番好調の矢野（義）選手のセンター前ヒットでホーネッツが幸先よく先制。この間に守備の乱れもあり一死三塁のチャンスを掴むとWPでホーネッツが2点を先取する。その後も四球、内野安打もありチャンスを広げたホーネッツだが、三球会先発の塚（達）投手の打たせて取るピッチングで2点止まりとなった。反撃をしたい三球会は二回、先頭の濱口選手がセンター前ヒットで出塁もホーネッツ先発の矢野投手に抑えられ、二死一塁。ここで八番船橋選手がレフトへの三塁打！送球が乱れる間に一気にホームまで陥れあつという間に試合が振り出し。一気に流れが三球会にいくかと思われた三回表、ホーネッツは一死ランナー無で四番広木選手がレフトオーバーの勝ち越し本塁打を放つ！続く五番今田選手もセンターへの二塁打！しかしこのチャンスも三球会の塚投手が無失点に抑える。何とかしたい三球会だったが、ホーネッツ先発の矢野投手が徐々に調子を上げなかなかチャンスを掴めない。逆に欲しい追加点を毎回得点で重ねるホーネッツ。とてもテンポよく進んだ七回の三球会の攻撃。先頭濱口選手が出塁。続く代打酒井（和）選手がセカンドゴロを放ち、一塁走者はアウトになったものの何とか一死一塁。ここで七番渡辺選手がライトへヒットを放ち、この間にまた守備の乱れでランナー生還。意地で1点をもぎ取る！このままチャンスを繋ぎたいがホーネッツ先発矢野投手の前に凡退し、5-3でホーネッツの勝利となる。ヒットも出て得点も入って七回まで試合が出来た要因は、両投手の四球の少なさととてもテンポの良い試合でした。（記事：新町パイレーツ 三重野、写真：中島孝志）



好投のホーネッツ矢野投手。



ホームランを放つホーネッツ四番広木選手。



同点打を放った三球会船橋選手。



ホーネッツ勝利の立役者、矢野投手、広木捕手。

第18週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

第18週、9月25日は4試合が行われました。

青松園Aの雁ノ巣ライナーズ対三苦フレンズ戦は、序盤の三回で大量7点をリードしたフレンズだったが、四回表に1点、五回表に一挙6点を失い、終わってみれば7-7の引き分け。途中で三回を機に完全に流れが入れ替わった試合。ライナーズは6点ビハインドでの五回表、無死一塁で九番山本選手が決めた送りバントから強力な上位打線へとつながり追いつくなど、見事なつなぎ役あったればこそその大量得点だった。

奈多グラウンドのソルトベイスターズ対奈多サンデーズ戦は、初回からサンデーズ打線が爆発し13安打11得点。投げては久しぶりの先発江口投手が四回まで三塁を踏ませない投球を披露。最終回1点を失うも1-1でサンデーズの勝利。この試合サンデーズはギリギリ9名。打ち八番前田選手（68歳）、九番富安選手（71歳）が要所でキッチリ仕事をしての価値ある1勝。まだまだ若いですね。

雁レク8のブルーマーリンズ対奈多クラブ戦は、エース林投手が不在のブルーマーリンズは、二回まで被安打3ながら9四死球で11失点と昨年までのブルーマーリンズを見ているかのよう。つても1安打7奪三振と奈多クラブ今林瑠生投手の前に抑えられ0-14で奈多クラブの勝利。奈多クラブは残り3試合、気を抜かずに行ってほしい。

青松園Bの三苦ホーネッツ対三苦三球会戦は、同点に追いつかれた三回表ホーネッツ広木選手がすぐさま勝ち越しソロを放つ四番の仕事をやったのけると、四、五回にはホーネッツ得意のバントに足を絡ませた攻撃で1点ずつ追加。三球会の反撃を1点に抑え、5-3でホーネッツの勝利。ホーネッツは4犠打中3犠打が得点に結びつくなど、効率のよい得点パターンが勝利に繋がっている。得点不足に悩むチームの監督は参考にして欲しい。

夏休みを頂いて、アップが遅くなり期待していらした皆様にはご迷惑をお掛けしました。

観光で訪れたベトナムでは、ゲリラ戦に若い少年少女も駆り出され命を落とし、またアメリカ軍の散布した化学兵器（枯葉剤）の影響で今もなお苦しんでいる方々の姿を見てきました。

日本も過去に大きな戦争を経験し、同じような苦しみを受けています。

戦争だけに留まらず、公害問題や天災などで多くの方々が家や家族、自分の体の機能を失ったりしていますね。

今、ソフトボールが出来ていることはとても幸せなことだと改めて認識できると同時に、戦争は絶対にいけないと思いました。

久しぶりの平和教育でした。